

令和 4 年度採択企画 中間評価総合コメント

機 関 名： 筑波大学

企 画 名： つくば SKIP アカデミー

～Science Kids Inspiration Program～

総合評価コメント：

応募人数を確保し、児童生徒の研究活動を推進する取組として、講義・実習に加えて、サイエンスカフェやサイエンスキャンプ等、多様な活動を展開している。今後に向けて、第一段階プログラムと第二段階プログラムの円滑な接続および第二段階プログラムのさらなる充実に向けて、学内支援体制のよりいっそうの強化が必要である。さらには、信頼性・妥当性のある評価を計画・実施するとともに、地域の特徴を活かし、研究施設等との連携を深め、より優れたジュニアドクター育成塾のプログラムとして展開することを期待する。

機 関 名： 山梨大学

企 画 名： やまなしジュニアドクター育成自然塾

～南アルプス・ユネスコエコパークでの活動が育む未来人材～

総合評価コメント：

関係機関と連携し、地域の特色を活かした多様なプログラムが様々な形態で提供されており、大学独自にプログラムを予算化し、試行も開始されている。受講生募集については、より多くの応募者獲得に向けた具体的な改善策が検討されており、着実に進めていただきたい。また、受講生評価の信頼性・妥当性をさらに高め、本事業の成果やその特色について他の実施機関や教育委員会へ共有を図る等、さらなる波及を期待する。

機 関 名： 神戸大学

企 画 名： 神戸みらい博士育成道場

総合評価コメント：

学内の協力体制に加えて、多くの外部機関との連携により、多様な講座が展開されており、このような多彩なリソースを活用した STEM+A の今後の展開が期待できる。受講生募集については、応募者増加に向けた改善策が検討されており、より多くの児童・生徒に向けた受講機会の提供が望まれる。また、第二段階の研究活動については、オンラインやメールが活動のベースとなっており、多くの研究者との交流を含め、より研究を深化・発展できるようさらなる工夫が必要である。受講生評価について丁寧に分析し、受講生にフィードバックするとともに、本事業の成果やその特色について他の実施機関や教育委員会へ共有を図る等、さらなる波及を期待する。

機 関 名： 米子工業高等専門学校

企 画 名： KOSEN 教育の強みを最大限に活かした科学に熱狂的な情熱を持つ
ジュニアドクターの育成

総合評価コメント：

多様なプログラムを企画、実施しており、修了生が実施機関に進学するケースも見られる。受講生のサポート体制および第二段階の研究活動のさらなる充実に向けて、より多くの教員が関わる必要がある。受講生評価、第二段階の受講生指導、プログラム全体のマネジメント等、さらなる実施体制の拡充を期待したい。

機 関 名： 島根大学

企 画 名： 島根から世界へ羽ばたけ！未来のサイエンティスト！！

総合評価コメント：

年々プログラムの充実が図られており、多様な活動での体験を通して、受講生の効果的な能力の伸長に向けて取り組まれている。今後に向けて、応募者数の十分な確保とともに、受講生の能力・資質の分析を進め、さらなる取組のレベルアップを図ることが望まれる。島根大学を中心とした県全体のネットワークを構築し、次世代人材育成拠点として、今後の展開を期待する。

機 関 名： 愛媛大学

企 画 名： 未来を切り拓く次世代ゼネラリスト育成プログラムの開発

総合評価コメント：

実施体制として、全学体制、次世代人材育成拠点、科学教育研究センター、さらには教育委員会、コンソーシアムとの連携のもとで、STEAM 人材育成が進められている。多くの学生メンター、担当教員が第一段階に加えて、第二段階においても研究指導に関わる等、充実した指導体制を構築しており、その結果が、募集者数、講義内容の多様性をふくめ、好循環を生み出している。よりきめ細かなサポートに向けて、指導者間での情報共有や全体のマネジメントを推進するとともに、さらなる分析と成果把握を進め、関係機関への積極的な発信を期待する。

機 関 名： 一般社団法人九州オープンユニバーシティ

企 画 名： 生態系保全型開発の先駆的モデル、九州大学伊都キャンパス生物多様性ゾーンを拠点とした自然共生志向サイエンティスト育成のための「九州ジュニアドクタープログラム」

総合評価コメント：

夏春実習やフィールドツアー等、実施機関の特徴を生かした独自性のあるプログラム内容となっており、プログラムで開発した教材やノウハウは、福岡市科学館での市民向け企画に還元されている。今後の取組の進展において、受講生の確保に向けた対策と改善は必須であり、より多くの児童・生徒に受講のチャンスが広がるよう、さらなる工夫が必要である。育成目標や STEAM 教育の理念を達成するための十分な体制整備に向けて、関連機関や社会教育施設等とも連携を深めるとともに、安定した運営に向けた実施体制のさらなる整備が求められる。

機 関 名： 長崎大学

企 画 名： 新しい価値と幸福な未来を創造できる人材育成プログラム

総合評価コメント：

教育開発推進機構生涯教育センターが運営主体となり、学内の他学部の協力に加えて、他大学、企業、水族館等、他機関構成員による講座や指導力が提供されている。メンター研修や活動内容も充実しており、保護者に配慮した取組も実施されている。今後に向けて、第一段階プログラムの精緻・構造化に加えて、第二段階プログラムのテーマ設定や指導についてブラッシュアップを図るとともに、学外連携の拡大と学内体制の強化を進め、さらなる成果の創出を期待する。

機 関 名： 琉球大学

企 画 名： 美ら夢を描く次世代イノベーター育成プログラム「琉大ハカセ塾」

総合評価コメント：

教育理念、体制、関係人材等、全学体制で臨み、企業をはじめとする機関との連携体制も構築、活用されている点は評価できる。今後に向けて、統合型人材育成研究拠点「STEAM 教育研究センター(仮称)」の設立による効果について分析を進め、小中高一体型の長期育成プログラムである次世代科学技術チャレンジプログラムでの展開を期待する。